

者会議を、地盤工学や地下水等の専門家と再編し、調査やデータ収集、分析ができるようにするべきだ。

都市再生部長 本市の助言者会議にはまちづくりについて意見をもちあわしている。地盤への影響については、事業者において分析等を行うべきものと考えている。



いのちが大事
鳴崎 英治 議員

いのち最優先で分権自治の市政を推進せよ



議員 いのち最優先、分権自治を推進する三鷹市政、それを支える職員の労働安全衛生の確立が必要だ。事業場安全衛生委員会は月一回以上の開催が義務づけられているが、法定事項は各事業場で守られているか。

総務部長 令和2年度は都市整備部及び都市再生部の事業場が新型コロナ対応で一部開催を見送ったため月一回以上の開催はできなかったが、その他の事業場では月一回以上開催された。

議員 学校給食調理業務委託事業者における上級救命技能認定者数を伺う。



市職員の救命技能講習(上級救命講習)の様子

議員 陥没から1年が経った今、市民を守るため、市としても様々な情報を収集し、独自に専門家の意見を聞くべきではないか。

市長 予算や人など、市にも限界がある。国にしっかりとやるよう要求するのが我々の仕事であり、調査については国に約束させる。

議員 現在、有効期間内にある上級救命技能認定者はいないが過去に取得経験のある者が一人いた。

議員 不慮の事故や労働災害等、我々は常に死と背中合わせで働き生活しており、上級救命技能認定者の存在は大きい。所見を伺う。

総務部長 市民の安全を守る役割を担う市職員として救命のスキルを持つことは非常に重要であり、市民の安心につながるものと考えている。引き続き救命講習を受講することで、そのスキルを継続的に維持し、職員として市民の安全を守る意識の醸成に努めていく。

議員 地方分権の原則に立ち返り特別定額給付金事業の検証が必要だ。地方分権推進委員会の最終報告では分権改革が地方公共団体による自己決定・自己責任の自由の領域の拡大を目指したと述べているが、当該給付金事業については国に託しては自己決定・他者責任の自由であり、自治体にとっては他者決定・自己責任の強制になっていたと認識

する。所見を伺う。

市長 緊急事態対応として迅速かつ全国一律的な対応が求められる状況において、広く市民の生命、安全等を守る立場で本市としても国の方針に協力することを私自身が政策判断した。

議員 地方分権の理念の結晶でもある地方自治法第1条の2第2項では、国は地方公共団体に関する制度の策定及び施策の実施に当たって地方公共団体の自主性及び自立性が十分に発揮されるようにしなければなら

ないと定めている。これを当該給付金事業に照らし合わせてみると、自治事務としながらも、国から押しつけられた強制的な事務であり、法がいう自主的な実施や自立性が発揮されているとは言えない。所見を伺う。

市長 自治体がしっかりと国の判断を実現すべく決断し一致団結して協力することが市民生活の維持、安全安心のために重要だ。上下で命合されて動くというより、広域的な視点でしっかりと対応したものである。



令和山桜会
池田 有也 議員

地域に合わせた丁寧なコミュニケーション行政を



議員 交通不便地域の問題は地域課題の中でも大きなテーマの1つだ。市内の交通不便地域への対応は、どのような状況か伺う。

市長 市民にとって利便性のあるまちにつながっていくような交通計画を考えていくとすれば、決断しなければいけないと思っ

議員 交通不便地域への対応として、デマンドバスなどの社会実験を行うが、市内北西部の地域は実験の対象となっていない。市内北西部には社会実験として導入できなかったのか。

市長 武蔵野市側に行く場合に市境を越えることによる利害の調整をしなければいけない問題があるので、社会実験の場には難しい。

議員 交通不便地域の中で北西部だけが何も対応されていない。今後の対応をどう

ないかと定めている。これを当該給付金事業に照らし合わせてみると、自治事務としながらも、国から押しつけられた強制的な事務であり、法がいう自主的な実施や自立性が発揮されているとは言えない。所見を伺う。

市長 自治体がしっかりと国の判断を実現すべく決断し一致団結して協力することが市民生活の維持、安全安心のために重要だ。上下で命合されて動くというより、広域的な視点でしっかりと対応したものである。

議員 三鷹教育・子育て研究所の最終報告書は従うべき指針なのか、または参考としての見本であるのか。

教育長 12名の有識者からなる研究会としての提言であり、教育委員会としての判断を拘束するものではない。しかし、今後参考にすべき重要な提言が数多く盛り込まれており、必要な施策を具体化していきたい。

議員 スクール・コミュニティを進める上で、地域ごとの歴史的経緯を踏まえた自主性、独自性を確保するための配慮をどのように考えているのか。所見を伺う。

教育長 町会・自治会等、地縁型のコミュニティを始めとして、多様なコミュニ

ティとの対話を重ねて、地域ごとの自主性を確保しつつ、多様な市民の参加と

協働を得ながら、共助のまちづくりを進めていくことが大事だと思っ



令和山桜会
吉沼 徳人 議員

跨線橋の今後の保存と活用について伺う



議員 本市ゆかりの文学者である太宰治が好んだ場所として、本市の跨線橋は有名だ。可能な限り文化的価値を残し後世に伝えるべきと考える。市は、JRからの譲渡は受けられないとして、南側階段部分と線路にかからない部分の譲渡を受け、保存してはどうか。

市長 無償譲渡には条件があり、維持管理費が年間3〜5千万円掛かる等の理由から、一部保存という決断をせざるを得なかった。階段の数段の一部保存にはJRも協力してくれる話になっているので、そのような方向で議論は進んでいる。

議員 訪れる人は、富士山を望める、太宰が見たあの高さの景色を見たいのだと考える。それを望めないとすると、何のために一部保存するのか。所見を伺う。

都市整備部長 跨線橋の保存・活用に当たっては、安全性の確保が前提だ。構造上、耐震性に課題があるの

で、現状の形態を残したままの保存は困難である。

議員 保存に関わる費用についてクラウドファンディングを活用してはどうか。

市長 クラウドファンディングを活用したり、JRが持つ経費、市が持つ経費を精査しながら、なるべく経費がかからない形で保存したいと考えている。

議員 現在でも多くの人が太宰の見た景色や電車の通過を楽しんでいる。今後多くの人が訪れ、太宰をしのび、太宰の見た景色を堪能し、三鷹のまちを楽しんでもらうため、展望施設として利用してはどうか。

市長 子どもや親子連れ等も楽しみによる場所なので、展望施設等の利用も可能かもしれない。検討を更に進めたい。また、太宰は文学のまち三鷹のシンボリックな人なので、しっかりと顕彰したいと考えている。

その他の質問 三鷹市リサイクル市民工房について

議員 街路樹は景観、環境、防災、交通安全という4つの観点で重要な役割を担っている。都道の街路樹に関



令和山桜会
渥美 典尚 議員

街路樹の適切な維持管理に努めよ



望が寄せられるので都にその旨を伝えるとともに、剪定や除草等の作業の実施時期や維持管理の方法について都から連絡を受け、適宜内容の確認を行っている。

議員 市道の街路樹に係る苦情や要望の件数とその内容について伺う。

都市整備部長 令和2年度は剪定依頼及び折れ枝の対応が89件、除草依頼が57件、3年度は10月末時点で剪定依頼及び折れ枝の対応が74件、除草依頼が52件あった。苦情や要望については職員や委託業者が状況を確認し、道路交通の安全安心の確保を第一に迅速な対応に努めている。

議員 老木化による危険性がある箇所や落ち葉等の苦情が頻繁にある箇所は樹種の変更、植え替えを検討すべきだ。所見を伺う。

都市整備部長 中高木の街路樹診断を順次実施し、不健全と診断された樹木は個別に伐採や植え替えを行っている。なお、街路樹は路線ごとに特徴を考慮し樹種の選定や管理を行っているので路線全体での樹種変更までは実施していない。

議員 街路樹の管理に係る経費等においてファシリティーマネジメントの観点が必要だ。所見を伺う。

市長 維持管理費用は増加傾向にあるためファシリティーマネジメントの観点を持ち将来を見据え、計画的に管理する必要がある。

議員 植え替えや樹種変更の計画及び規程等を策定する予定はあるか。

市長 計画策定については現状の確認と様々な事例や他市の状況などを踏まえ検討していきたい。

議員 選挙は、主権者としてその意思を政治に反映させることができる最も重要な基本的な機会だ。年代別の投票率について伺う。

選挙管理委員会委員長 平成28年度以降、10代は堅調で、20代が一番低く、年齢が上がると徐々に上昇しているが、80歳を過ぎると低下する傾向である。

議員 障がい者や高齢者は、一人では校門から投票所入人口までが移動しづらいことがあると聞く。障がい者、高齢者に優しい投票所運営の実現について伺う。

選挙管理委員会委員長 手引きを活用し配慮した投票事務に努めているが、今後近隣市の事例も参考にしながら、高齢者等の目線



都道(東八道路)の街路樹



令和山桜会
伊東 光則 議員

より良い社会の実現のための投票率向上を目指せ

